

RCCプレスリリース

2019年度の募金による「音の出る信号機」を設置

「音の出る信号機」贈呈式&渡り初め

2019年の「RCC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」で皆様からいただいた募金総額は528万5,195円。この募金で音の出る信号機を広島県内に新たに3基設置することが出来ました。設置場所は、広島市中区本川町「本川町1丁目交差点」、広島市西区庚午北「東高須電停南口」、三原市城町「三原駅前中交差点」です。10月21日（水）に広島県警への「贈呈式」を行い、午後に稼動。「本川町1丁目交差点」で田村アナと共に、地元の目の不自由な方や視覚障害者団体の役員の方々が「渡り初め」を行いました。

RCCラジオチャリティ・ミュージックソンの音の出る信号機の寄贈は合計32基となり、県民の皆様からいただいた募金の総額は5,800万円を超えました。なお、今年度も「RCC ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」は11月1日に募金スタート、12月24日～25日は、24時間の特別番組で皆さまにご協力と呼びかけます。



■ 渡り初めの様子（広島市中区・本川町1丁目交差点）



■ 交通量の多く道幅も広い相生通りの交差点。広島電鉄本川町電停もあり、視覚障害者の方からの要望が強い場所に設置。

■ RCC宮迫社長から
広島県警山田谷交通部長に目録を贈呈。

■ ラジオカー中継では、目の不自由な方から音の出る信号機への感謝と喜びの声が聞かれました。



■ 今年も11月1日から募金受付開始

今回の3基の設置により、
広島県内に音の出る信号機は、計319基となりました。
RCC ラジオ・チャリティ・ミュージックソンでは、
32基の音の出る信号機の設置となりました。

